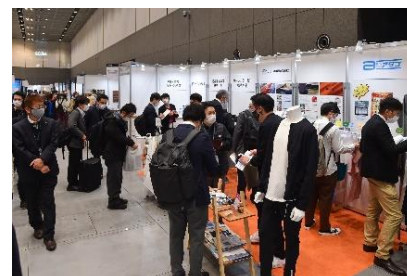


PTJ2022AW / JFW-JC2022 【開催報告】



今回で 21 回目を迎えるビジネス商談会 Premium Textile Japan (PTJ) と、日本で唯一の繊維総合見本市 JFW JAPAN CREATION (JFW-JC) は、前身の JAPAN CREATION が 1998 年にスタートしてから 30 回目の記念会を迎えました。今回もコロナ禍の中での開催となったが、全国の繊維企業からの開催要望は強く、出展募集期間である 7 月は過去最多の感染者数が出現していたが、「絶対に開催して欲しい」との声を多数寄せられた。改めて“直接生地に触れて交流できるリアル展の重要性”と、PTJ、JFW-JC が繊維・ファッション業界において重要なイベントとなっている事を感じさせられる。

＜＜展示会概要＞＞

- ◇ 日時：2021 年 12 月 7 日（火）、8 日（水）両日とも 10：00－18：00
- ◇ 会場：東京国際フォーラム ホール 展示ホール E(5,000 m²) + ロビーギャラリー
- ◇ 後援：経済産業省 独立行政法人中小企業基盤整備機構 独立行政法人日本貿易振興機構
一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会 日本繊維輸入組合 日本繊維輸出組合

■ 来場者数 （前年：12,626 人）

展示会名	アパレル・小売	問屋・商社・企画会社	PRESS	主催関係者・関係団体	Visitor	Student	計	総来場者数
PTJ2022AW	4,354	3,652	74	184	907	—	9,171	11,387
JFW-JC2022					1,352	864	10,480	

会期初日は例年よりも静かな幕開けながら、15 時以降は来場者も増え活発な商談が繰り広げられた。2 日目は終日雨の予報だったが、例年 1 番来場者が多く訪れる午前中もそれほどの人出はなかった。だが、午後になり徐々に来場者が増え、14 時から 15 時の 1 時間は入場規制を掛け、その時の最大待機者は 150 人に上り、喫茶券を配る等の対応を行った。その後も夕方までに 2 回入場規制を掛けるほど来場者が多く、コロナ禍前の PTJ を彷彿させる熱気が蘇っていた。それでも 2 日間 TOTAL では両日とも午前中のマイナス分をカバー出来ず、前年の 90% の 11,387 人だった。

その要因は、やはり 12 月開催という会期の遅さがあるが、これはオリンピックイヤーという会場の都合もあり、主催者といえども如何ともし難い問題。また、東京の感染者数は劇的に減った時期ではあったが、11 月末のオミクロン株の出現によりマインド的にネガティブな雰囲気であった事も響いたと推察される。



■トレンド&インデックス・コーナー（JFW Sustainable Project+JFW Textile Online Salon）

今回の施工テーマは「ライフスタイル」。住まいのファサードをイメージして、シナベニヤのルーバーを壁面に使い、樹木を入れ込み爽やかな安らぎを感じる空間を構築。その中でも、目玉企画であるサステナブル素材の展示コーナーを独立性の高いレイアウトとした。また、今年5月にスタートしたJFW Textile Online Salon（JTO）の“使い方動画”やパネル展示を行い、JFW Sustainable Project 同様に来場者への認知向上に役立てた。



« JFW Textile View & Sustainable Project »



◆ エコ・エボリューション … サステナブルを条件とする（サステナブル・カード添付）

Booth No. **A-1**

(株) ジャパンファッションウィーク

Sample No.: **A-123-45** (2001)

サステナブル素材分類

☐ オーガニック繊維、生物新生の糸、天然繊維

☐ レサイクル繊維

☒ バイオ・ペーパー、天然素材、自然由来染料 / 環境負荷低減素材

☐ アニマルケア 繊維

サステナブル製造工程

☐ 環境配慮された染・織加工プロセス

☐ 非有害化学物質

サステナブル企業認証

☐ サステナブル企業認証



◇ レトロ・エボリューション / アート・エボリューション / ポップ・エボリューション ◇ インデックス

…… サステナブル該当外の素材と、該当する素材(サステナブル・カード添付)で構成

« 展示点数 » (内サステ対応素材)

○ エコ・エボリューション: 119 点 (119 点) ○ アート・エボリューション: 111 点 (21 点)、

○ ポップ・エボリューション: 115 点 (31 点) ○ レトロ・エボリューション: 118 点 (15 点)

○ 服飾資材: 26 点 (4 点)

□ PTJ INDEX: 192 点 (62 点) □ JFW-JC INDEX: 204 点 (53 点)

TOTAL: 885 点 (305 点)

【Premium Textile Japan 2022Autumn/Winter】



- ◇ 来場者 : バイヤー及び招待者限定 [入場無料]
◇ 出展者 : 書類及びスワッチ審査を通過した厳選出展者 (団体出展不可)

□ 出展者数 : 66 件 / 98.5 小間 (PTJ2021AW 実績 : 66 件 / 92.75 小間)

PTJ 件数/小間数	件数	小間数	(新規)	(復活)
国内	63	95.5	3 件/5 小間	3 件/3.5 小間
海外 (イタリア・中国・トルコ)	3	3	—	—
合計	66	98.5	6 件/8.5 小間	

* 新規出展 : 古山(株)、スタイルム瀧定大阪(株)17 課、西川毛織(株) / (株)イチテキ

* 復活出展 : アゲハラベルベット(株)、朝日染色(株)ソレヴァンテ 1918、(株)オールブルー



● 関連プログラム

Textile Workshop ~日本の素材を学ぼう~

JFW では業界人となって間もない(職歴 5 年未満) 商品企画従事者を対象に、“寺子屋”をイメージした Textile Workshop を実施する。PTJ、JFW-JC 出展の産地企業人を講師として招き、毎回対象素材を変えたレクチャーを行う事で、日本製素材や産地への認識を深めて貰う事を目的とする。今回は、前回好評だった“サステイナブル”を再度テーマとして実施しました。

□ テーマ素材(産地)・講師 :

➤ 12/7 (火) 10:30- : 『原料ベースでのサステイナブル』(福井産地)

明林繊維株式会社 テキスタイル事業部 / 東京支店長 宇随 滋章 氏 (Shigeaki Uzui)

【講演概要】

産元商社としてサステイナブルに対する取り組みを語る上で、“産元商社”の機能を以下の様に説明。アパレルへ営業を掛け、注文を受けると自ら糸を手配し、機屋・ニット・染色整理工場を手配し、商品(素材)を作り顧客へ渡す。特に明林繊維はレーヨン、アセテート、キュプラ等のセルロース系繊維に特化している為、サステイナブルに対しては早い時期から会社として取り組んでいた。現在、売上の 6 割がアジアや欧米への輸出となっているが、「輸出ではサステイナブル国際認証の取得が求められる」と語った。



➤ 12/8（水）10:30-：『原料～染色・加工でのサステナブル』（和歌山産地）

吉田染工株式会社 代表取締役社長 吉田 篤生 氏（Atsuo Yoshida）

【講演概要】

吉田染工は24時間稼働の全自動染色プラントを備え、サステナブル対応にも注力しており、近年では廃棄されるバナナの茎を利用した繊維が話題を集めた。吉田社長は、業界では様々なサステ素材が開発されているが「万能な素材はない」と語る。例えば染色された原料を再利用した再生コットンは色が混ざってしまう。素材の欠点を加工で克服するのは難しいが、「そこに染工所としてのチャンスがある」と語る。



【 JFW JAPAN CREATION 2022 】

◇ 来場者：バイヤー及び招待者、業界関係者、学生 <Web 事前登録者に限定>

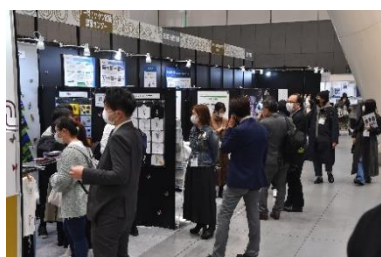
□ 出展者数：52件／187.9小間（JFW-JC2021実績：47件/168.9小間）

JFW
JAPAN
CREATION
2022

JFW-JC 件数／小間数	件数	<総企業数>	小間数	<新規>	<復活>
国内	50	283	182.9	2件／3小間	3件／8小間
海外（アメリカ・台湾）	2	10	5	0件／0小間	0件／0小間
合計	52	293	187.9	2件／3小間	3件／8小間

* 新規出展：(株)シャルマン工芸、テクシる（中能登町商工会繊維業部会）

* 復活出展：(株)笠盛、かほく市商工会、JYT ねん糸グループ



■ 関連プログラム

● JFW Textile セミナー ～サステナブル繊維の認証基準を初歩から学ぼう～

今回の「JFW JAPAN CREATION 2022」「Premium Textile Japan 2022 A/W」では、JFW Textile セミナーを開催します。豊島株式会社の平沢希久子氏を講師に迎え、サステナブル繊維の認証基準について講演した。

- ・ 日時：2022 年 12 月 7 日(火) 14:00～15:00
- ・ 会場：東京国際フォーラム ホール E-2 セミナールーム
- ・ 受講対象者：JFW-JC、PTJ 来場者（事前予約性：無料）



○ 講演者：豊島株式会社 営業企画室 平沢希久子氏

- 講演者プロフィール：アパレルの営業・MD を経て、中国・上海に単独で渡り、原料調達から製品までを一貫で担当。2015 年、日本に帰国後、豊島株式会社に素材、機能の開発と原料認証の全社向け企画と営業をサポート。
- 講演者コメント：コットンやリサイクル繊維の認証基準を初歩からわかりやすく、特に誤解をしやすい点を中心に説明と紹介を致します。参加型みんなで学ぶセミナーです。



● PIGGY'S SPECIAL ピッグスキン・ファッションショー（主催：東京都、東京製革業産地振興協議会）

毎回、東京を代表する若手デザイナーを起用し、注目を集める PIGGY'S SPECIAL。今回もロビーギャラリーに特設ステージを設けて開催した。ショーの構成はプロ及び学生作品を 3 つに分け、全てプロ＋学生作品。当日は観覧者だけでなくプロ及び学生モデル、学校関係者、プレス等も入場パス記載の QR コードを読み取り、マスク着用の義務化、検温を実施して開催した。



- 実施日：2021 年 12 月 8 日（水）①13:00－②14:30－③17:00－

◇ プロ部門：デザイナー 3 組各 10 点 計 30 点

- ① tactor（タクター）山本奈由子
- ② MIDDLEA（ミドゥ）安藤大春
- ③ Re:qual≡（リコール）土居 哲也



◇ 学生部門：東京都各種学校、専修学校／12 校

- ① 青山ファッションカレッジ、東京モード学園、江東服飾高等専修学校、ドレスメーカー学院
- ② 二葉ファッションアカデミー、ファッションカレッジ桜丘、渋谷ファッション＆アート専門学校、織田ファッション専門学校
- ③ 東京ファッション専門学校、華服飾専門学校、東京服飾専門学校、文化服装学院

* 各回とも 35 作品 計 105 作品



■ 30th JFW-Japan Creation／21st Premium Textile Japan Anniversary Event

今回で 30 回目を迎える JFW-Japan Creation は、前身の Japan Creation（主催：JC 実行委員会）が 1998 年 1 月（会場：東京ビッグサイト）にスタートした展示会を 2007 年に JFW が事業継承して現在に至る。当初は年 1 回開催だったが、2006～2010 年の 5 年間は年 2 回開催した。

2011 年には、よりビジネスに特化した Premium Textile Japan（年 2 回開催）をスタートさせた事で、産地の PR 主体の JFW-JC を年 1 回開催に戻し、会場も 2012 年から東京国際フォーラムに変更した。2021 年 5 月開催の PTJ は第 20 回という節目の会期だったが、コロナの影響で飲食を伴うイベントが開催できなかった為、正確には 21 回目となる今回に JFW-JC30 回と合わせて、記念式典（JFW Textile Night）を開催した。

当日は JFW 三宅理事長が主催者挨拶を、来賓代表挨拶を日本繊維産業連盟の鎌原会長が行い、その後、連続出展者の表彰を行った。招待者を限定し、飲食時以外はマスク着用での式典となったが、終始和やかな雰囲気で行われた。

【トロフィ授与対象企業】29 社

➤ JFW-JC 10 回直近連続出展：9 社・団体

Taiwan Textile Federation-TTF、太平洋ミク株式会社、東京都（東京製革業産地振興協議会）

東京都（東京皮革製品展示会実行委員会）、一般社団法人富山県繊維協会、一般社団法人日本絹人繊維物工業会
八王子商工会議所 繊維・ファッション部会 ファッションセンター事業、Bishu Style、和歌山県製革事業協同組合

➤ PTJ 10 回直近連続出展：11 社

株式会社カゲヤマ、株式会社グローブ、有限会社クロスジャパン、コスモテキスタイル株式会社、

齋栄織物株式会社／SAIEI SILK、山陽染工株式会社、鈴木晒整理株式会社、株式会社松原、丸井織物株式会社、
溝呂木株式会社、有限会社山政テキスタイル

➤ PTJ 21 回連続出展：9 社

糸の音、宇仁繊維株式会社、落合レース株式会社、カイハラ株式会社、株式会社コーラル、敦賀繊維株式会社、
東レ株式会社、畑岡株式会社／株式会社足羽工業所、古橋織布有限会社

